

地[®]情報

第43巻
第4号
通巻第168号
令和6(2024)年
2月1日発行

168

CHIZU JOHO

International Cartographic Information Center

編集発行 一般財団法人 地図情報センター

Vol.43 No.4

特集

富山の自然とくらし



富山県観光産業絵圖

● 巻頭随筆

地図の世紀	金田章裕	2
-------	------	---

● 特集 富山の自然とくらし

総論—富山県を俯瞰して	金田章裕	4
立山の自然	福井幸太郎	10
石黒信由と加越能三州の測量	野積正吉	15
富山のものづくり	山根 拓	22
富山市のコンパクトなまちづくり	大西宏治	26

● 地図楽

地図と私 地図との関わり合いアレコレ—思いつくままに	安仁屋政武	32
鉄道古地図めぐり⑥ 全国鐵道航路圖	今尾恵介	34

● 文献紹介

今こそ学ぼう — 地理の基本 防災編	堀川裕貴子	36
地図でめぐる日本の城	栗山絵理	36
ステレオ写真で眺める明治日本 まちとむらの暮らし、富士山への憧れ	村野京一	37

● お知らせ

(一財) 地図情報センターからのお知らせ	37
受贈図書・資料	43

● 資料室

2023年9月～2023年11月号	38
-------------------	----

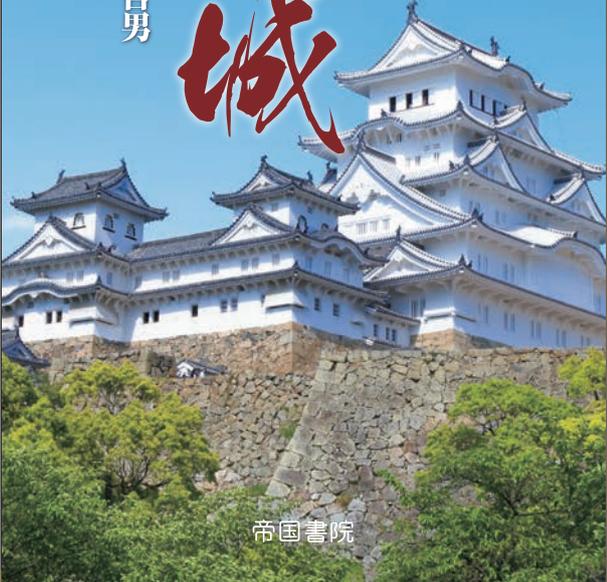
付録 国と国旗ハンドブック 2023/24

このたびの令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。被災地の皆様の安全と、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

旅に出たくなる

地図で めぐる 日本の 城

小和田 哲男



帝国書院

旅に出たくなる

新刊

地図で めぐる 日本の 城

小和田 哲男

大河ドラマでもおなじみの歴史学者と、学校地図帳の出版社による日本全国の城を地理的な視点もまじえて紹介する地図帳



都道府県別地図

見開きの都道府県別地図で、全国のお城を網羅。代表的なお城は写真（またはイラスト）入りで解説！小和田先生のオススメコラム「小和田哲男のこの一城」も掲載。

<掲載例・愛知県>

- 岡崎城★ 長篠城★ 小牧山城★ 吉宮城★ 吉田城★ 清洲城 那古野城 勝幡城 古渡城 末森城 守山城 岩倉城 黒田城 岩崎城 鳴海城 沓掛城 大高城 緒川城 大草城 大野城 大野城 一宮城 小田井城 楽田城 下大留城 下奈良城 下之一色城 白山城 早尾東城 吉田城 西溝口城 光明寺城 大城 菊安賀城 上条城 木ノ下城 高田城 九之坪城 奥城 竜泉寺城 安祥城 刈谷城 西尾城 東条城 上ノ郷城

名城探訪

特に著名なお城は特集ページで大々的に紹介。築城された時代背景、地理的条件、城郭の構造、城下町のようなすなどを小和田哲男先生が詳しく解説。豊富な写真、地図、CG、イラストもみどころ。

<この特集で扱うお城> ※掲載順

- 五稜郭 弘前城 仙台城 会津若松城 江戸城 小田原城 松本城 金沢城 一乗谷城 名古屋城 犬山城 彦根城 大坂城 姫路城 松江城 松山城 高知城 熊本城 首里城

その他

巻頭グラビア、日本列島城分布、城の構造、御城印、なども充実



A4判 / オールカラー / 204ページ
定価2,640円(税込) / ISBN 978-4-8071-6680-0

帝国書院

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29
TEL.03-3262-0830 FAX.03-3234-7965
https://www.teikokushoin.co.jp/



今こそ学ぼう

地理の基本 防災編

長谷川直子・鈴木康弘 編

A5判 224頁

発行 山川出版社

2023年9月25日

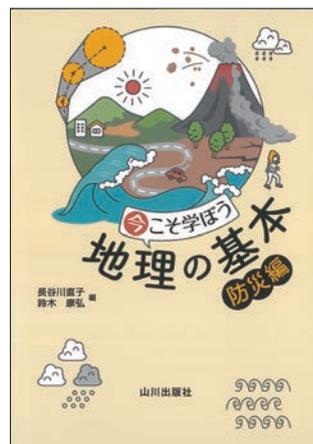
定価 2,420円(本体2,200円+税)

「今こそ学ぼう」というタイトルは誰に向けたものだろうか。

高校地理の必修化が2022年度からスタートした。「地理」は学校で教わる科目にとどまらず、卒業後も何かしらの関わりを持って生活していく。本書は、地理の基本を学びたい人向けにまとめられており、私も授業の準備に活用することが多い。丁寧かつ新しい情報やイラスト入り解説が分かりやすく、読みやすい。また、過去の事例を幅広く紹介しており、地域の災害史をまとめる時にも参考になる資料が見受けられる。

「はじめに」の編者のことばにもあるように、地理の基本は、社会のしくみをつくる立場の人から市井の一個人まで、あらゆる人が知っておいてほしい内容である。災害は、人命、家屋、財産など人間生活を大きく左右するため、想定外では済まされない大きな影響力をもつ。しかし、災害についての用語は知っていても、日本にはなぜ多くの自然災害がおきるのか、どのような災害を経験してきたのか、今後災害とどう向き合えばよいか、などを地理の基本と共に学ぶ機会が乏しかった人々が多かったと言ってよいだろう。特に高校地理は49年ぶりに必修科目となり、その長い年月の間に気候変動などが地球規模でおこったが、幸いにも、ネット環境とともにあらゆる世代が地理や地図に親しみやすい時代となった。

さて、この本の内容のうち、印象に残ったいくつかを紹介したい。ある災害が法律や仕組みを変えるきっかけになることもある。その一つが阪神淡路大震災(1995年)であろう。事前に活断層のことが知られていなかった時代に阪神・淡路大震災が起こり、被災者の9割以上が「わかっていたら教えてほしかった」とアンケートに回答していた。また、水害の事例では、1998年福島県郡山市で起きた水害で、市の配布したハザードマップをみた住民が、避難をより早く始めたことが明らかになったこと。都市機能を麻痺させた2000年東海豪雨を機に国・都道府県市管轄の河川について市町村による洪水ハザードマップ整備が義務化された(私自身、ハザードマップが公開されることになった時に、非常に驚いたものだ)。情報は人を動かし、



動いた人はさらに情報を得て動き出す。ウェブ地図も紙地図も、災害伝承碑のような碑文も、地域の命を守る情報である。災害をきっかけに、街のデザインをかえるところも出てきた。まちづくりには災害への目線と地理の基本が必須項目となっているからである。

「今こそ学ぼう」、この著書のタイトルが語りかける意味は大きく、そして深い。

(新潟県立長岡高等学校 堀川裕貴子)

地図でめぐる日本の城

小和田哲男 編・著

A4判 204頁

発行 帝国書院

2023年7月15日

定価 2,640円(本体2,400円+税)

人生100年時代、ゆとりができたらどのように過ごすか、ふと考えることがあります。本校の先輩教員は殊更お元気で、定年退職後も登山や水泳、海外旅行や東海道踏破など、アクティブに活動される方ばかり。中でも印象深く残る逸話は、生物の先生が定年退職後、長年巡りたかった日本の城郭巡りを本格的に始めて年々歳々憧れの城を探訪しているという話です。いざ憧れの城を巡るとなれば、頼もしい地図とガイドがあれば、さぞ心強いことでしょう。そこで、『旅に出たくなる 地図でめぐる日本の城』は歴史好き、日本の城好き、地図好きの皆さんには注目の一冊です!著者は小和田哲男先生、城郭イラストは香川元太郎氏、そして地図の監修は帝国書院。北は北海道から南は沖縄まで、「名城探訪」として19の城に焦点をあてつつ、地図で日本各地の城をめぐる意欲的な作りになっています。

帯には「なぜ、そこに城はできたのか?当時の城主たちの戦略や思惑、城をとりまく自然条件など地図を用いて徹底考察!」とあります。これこそ、高校新設



科目の「〇〇探究」の在り方を先導し、探究的な主題の設定を果たしています。まず巻頭には「平山城・山城・海城」の地形別、そして「原始・古代・中世・近世」の時代別、さらに巻末には「御城印」（私は本書で初めて「御城印」なるものを知りました）と「お城めぐりの基礎知識」、「鉄道図」、「地名索引」がまとめられており、どの特集も魅力的です。本編の「名城探訪」からひとつをご紹介します。空襲や災害にあわず、昔ながらの城下町を残す地域教材として高校の地理の授業でも何度も扱ってきた「弘前城」の特集です。見出しの紹介文には「東北唯一の現存天守と3基の櫓などの

遺構が多数。かつての町割を残す城下町にも注目」と書かれています。

本書によれば、この弘前城は、岩木川の河岸段丘を利用した平山城で、西を岩木川、東を土淵川に挟まれた弘前台地の北端に位置し、上位の段丘面上に本丸・北の郭・二の丸・三の丸が築かれ、下位の平野部に西の郭、四の丸が築かれている。とりわけ本丸が一番高いところであり、その西面は15m以上もの高低差をもつ段丘崖に切り立ち、東面は高石垣で囲われているとのこと。水害に見舞われて悩み、地形を巧みに利用した津軽為信の居城の工夫を、鳥瞰図、景観写真、地形断面図、そして洗練された説明文でわかりやすく説明しています。こうした本書の記述だけでも、現地を想像してワクワクする旅心がすぐられます。

「ゆとりができたなら城を巡ろう」と思うまでもなく、本書をめくればそこはもう『旅に出たくなる 地図でめぐる日本の城』の世界。地図も本物、写真も美しく、鳥瞰図や城郭のイラストも麗しい。いつか実踏することを目指しつつ、部屋に居ながらにして城郭巡りが叶います。そんな夢のような一冊を皆さまの本棚に。

(東京学芸大学附属高校 栗山絵理)

ステレオ写真で眺める明治日本
まちとむらの暮らし、富士山への憧れ

井上卓哉 著

B5変形判 96頁

発行 古今書院

2023年7月26日

定価 3,300円(本体3,000円+税)



1901(明治34)年に初来日したイギリスの写真家、ハーバート・G・ポンティングが撮影したステレオ写真集「Japan through the stereoscope」から80枚を選んでおり、一部は手彩色の疑似カラー写真である。明治末期といっても都市部以外は江戸時代の景色・民俗が色濃く残っており、山岳・田園風景などは、伊能忠敬やイザベラ・バードなどもこのような景色の中、測量や旅をしていたのだなあ感慨深いものがある。富士

山関連の写真も多く、富士山頂から望む山中湖など、機材の発達していない当時の撮影の苦労が偲ばれる。

立体視には訓練や、専用のメガネが必要とあるが、写真の中心にハガキを立て、強い老眼鏡(100円ショップでよい)を掛けてやや寄り目で見ると見やすい。

(地図情報センター 村野京一)



(一財)地図情報センターからのお知らせ(2023年10月~12月)

《委員会》

- ・編集委員会：10月6日⑤、12月6日⑥
- ・事業委員会：12月15日①

《地図情報》

- ・第43巻第3号通巻第167号 地図で知る「関東大震災100年(11月1日発行)

《巡検・見学会》

- ・12月9日：震生湖と秦野湧水巡り

《地図情報の送付について》

- ・2024年2月1日より印刷物をお送りしていた「クロネコDM便」が「クロネコゆうメール」となり、配達日数の増加、土日祝日の配達中止などが予想されます。

資料室

2023年9月～2023年11月

本号の資料室は、『地域情報ニュース』2022年9月号～11月号(8～10月データ)に収録されている897件の中から95件を選んで掲載しました。

数字は出典日:年-月-日-番号
(『地域情報ニュース』の管理番号)

1101 行政区画

23-08-25-001 埼玉県

熊谷市と行田市の境界変更、2023年10月1日施工。熊谷市に編入する区域は、行田市大字小敷田字竹町248、249-1、249-4、249-5、250-1、250-2、250-3の一部、260-1、260-3の一部、261の一部、262-1の一部、262-2の一部、263の一部、264の一部、字道下366-1、366-2、367、368-1、368-2、370-1、370-2、371-1の一部、372-1～3、字高根483～484、485-1～4、486-1、486-4、486-5、486-6、487-1、487-2、488-1、488-2、489-1、489-2、490-1～4、491-1、491-2、492-1、492-2、493-1、495-5の一部、495-6、496-1、523-5。行田市に編入する区域は、熊谷市池上字弦巻1～5、6-1の一部、7-1～4、10-1の一部、10-2の一部、11、12-1の一部、12-2の一部、13-1の一部、13-2の一部、14-2、15-1、15-2、16-1の一部、16-2の一部、17、18の一部、19の一部、84-1の一部、84-4の一部、85-1の一部、85-4の一部、86-4の一部、字向釜345の一部、347-1の一部、347-2、347-3の一部、353-2。

1103 行政庁

23-09-13-001 北海道

「芦別市役所」新庁舎(芦別市北1東1-4、もとまち公園内)、2029年度完成予定。延べ床面積約4700～4900平方メートル。

23-09-28-001 北海道

「紋別市役所」新庁舎(紋別市幸町2丁目20、現敷地)、2027年度完成予定。地下1階、地上4階建て。延べ床面積7415平方メートル、敷地面積1万1385平方メートル。

23-10-10-001 北海道

「八雲町役場」新庁舎(八雲町宮園町1-1、国立病院機構旧八雲病院跡地)、2026年度完成予定。3階建て。延べ床面積約6150平方メートル、敷地面積約2万2000平方メートル。

23-08-21-003 北海道

「湧別町役場」新庁舎は、2025年3月に閉校する「中湧別小学校」(湧別町中湧別南町914)跡地に移転予定。完成時期不明。庁舎新築面積は約3500平方メートルで、保健福祉センター、子育て支援センターの配置などは閉校後の既存校舎を有効活用。

23-09-12-001 青森県

「平内町役場」新庁舎(平内町大字沼館字家岸25-1外、青森少年院跡地)、2026年12月開庁予定。2階建てか平屋建て。延べ床面積約3600平方メートル、敷地面積約3.7ha。

23-09-13-002 青森県

「蓬田村役場」新庁舎(蓬田村大字阿弥陀川地内)、2025年6月30日完成予定。庁舎棟は2階建て。延べ床面積2372平方メートル。

23-08-08-001 青森県

「七戸町役場」新庁舎(七戸町荒熊内地区)、2029年度移転・完成予定。延べ床面積約4800平方メートル。具体的な建設位置は未定。

23-09-19-001 秋田県

「湯沢市総合支所」新庁舎(湯沢市皆瀬地区)、2023年9月19日移転・開庁。平屋建て。延べ床面積約2000平方メートル。

23-08-05-001 秋田県

仙北市は、2025年9月までに市役所田沢湖庁舎に置く本庁舎機能を旧角館総合

病院(仙北市角館町岩瀬)の管理棟に移転予定。

23-09-25-001 山形県

「鶴岡市朝日庁舎・消防署朝日分署」(鶴岡市下名川字落合1外)、2025年3月10日完成予定。2階建て。延べ床面積2038平方メートル。消防棟とバイオマス棟で構成。

23-08-24-001 福島県

「川内村役場」新庁舎(川内村上川内小山平15、コミュニティセンター敷地)、2026年度完成予定。2階建て。延べ床面積約3000平方メートル、敷地面積6475平方メートル。庁舎とコミュニティセンターを移転・合築する。

23-09-01-001 茨城県

「五霞町役場」新庁舎(五霞町小福田地内、中央公民館敷地)、2023年度基本計画策定、完成時期不明。想定では2階建て。延べ床面積3835平方メートル。中央公民館との複合化施設となる予定。

23-09-21-001 埼玉県

「伊奈町役場」新庁舎(伊奈町中央4丁目355、現敷地)、2027年度建替・供用開始予定。延べ床面積約8350平方メートル。図書館、観光協会、消防団第2分団も併設。

23-08-21-001 千葉県

「大多喜町多目的庁舎」(大多喜町大多喜115-6外)、2026年度完成予定。敷地面積614平方メートル。規模等は不明。

23-08-21-002 東京都

「奥多摩町役場」新庁舎(奥多摩町氷川字大氷川200-6、奥多摩駅東側)、2026年度完成予定。延べ床面積約3800平方メートル。

23-08-28-001 神奈川県

「二宮町役場」新庁舎(二宮町二宮、二宮果樹公園)、2027年3月完成予定。延べ床面積約4400～4800平方メートル。周辺には福祉会館、生涯学習センターなどを整備。



弊社屋上から見た首都高

首都高から見える印刷会社です。

小宮山印刷は今年で創業101年。首都高の生まれるずっと前からこの地で頑張っています。今日まで会社を続ける事が出来たのも、ご愛顧いただけるお客様あってこそ。この先もお客様に喜んでいただく事を第一にきめ細かなサービスを提供し続けます。弊社屋上からは首都高の美しい夜景が見られます。ぜひ一度お立ち寄りください。



小宮山印刷株式会社 <https://www.kpi-net.co.jp>
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-3
TEL.03-3274-0051(代) FAX.03-3273-2182

床面積約3000平方メートル、敷地面積3378平方メートル。

23-09-20-002 岡山県

「高梁市消防庁舎」（高梁市川端町、内山下）、2025年1月31日完成予定。3階建て。延べ床面積2459平方メートル。

23-09-21-002 岡山県

「新見市消防庁舎」（新見市新見）、2024年12月27日完成予定。3階建て。延べ床面積2302平方メートル。

23-09-20-003 愛媛県

「西予市消防本部」（西予市宇和町神領）、2025年2月28日完成予定。4階建て。延べ床面積1949平方メートルほか5棟。

23-10-04-001 高知県

「幡多中央消防組合四万十消防署」（四万十市右山明治307-1外、下水処理場未利用地）、2024年8月16日基本設計完了予定、完成時期不明。3階建て。延べ床面積約2900平方メートル、敷地面積1万1915平方メートル。

23-08-03-002 福岡県

「福岡県警察本部田川警察署」新庁舎（田川市平松町3-36、旧田川市教育庁舎・旧田川市武道館敷地）、2027年春、移転・開署予定。4階建て。延べ床面積5740平方メートル。同市千代町から移転。

23-08-25-002 鹿児島県

「南薩地域振興局」新庁舎（南九州市知覧町西元、県立保健看護学校跡地）、2027年度末完成予定。南さつま市加世田からの移転で、指宿市にある駐在機関、同市と南さつま市に置く保健所を振興局に集約する方向。

1105 その他行政

23-10-18-001 秋田県

「湯沢駅周辺複合施設」（湯沢市表町2-36-6、材木町2-49-2地内）、2026年6月完成予定。3階建て。延べ床面積約5500平方メートル、敷地面積約9960平方メートル。延べ床面積約3500平方メートルの立体駐車場も整備。湯沢生涯学習セ

ンター、湯沢図書館、湯沢市子育て支援総合センターで構成。

23-09-07-001 千葉県

「柏市子ども・若者総合支援センター（仮称）」（柏市十余二313-92、現敷地）、2026年度開設予定。3階建て。延べ床面積約7120平方メートル、敷地面積約1万9330平方メートル。

23-09-25-002 新潟県

「小千谷市防災センター（仮称）」（小千谷市碑生地内）、2025年度完成予定。2階建て。延べ床面積3887平方メートル。1階は体育館と屋外運動場、研修室、多目的ホールなど、2階には「そなえ館」を中心とした防災啓発エリアを設ける。

23-09-01-002 愛知県

「一宮地域交流会館（仮称）」（豊川市一宮町豊1、現一宮庁舎敷地内）、2027年度供用開始予定。2階建て。延べ床面積約4150平方メートル。支所、生涯学習・コミュニティ、児童館、図書館、福祉相談・高齢者支援の5機能を備える。

23-09-27-003 愛知県

「西尾市生涯学習センター（仮称）」（西尾市山下町城南23、西尾公園テニスコート移転後跡地と西尾公園の一部）、2025年9月完成予定。平屋建て。延べ床面積2596平方メートル、敷地面積8354平方メートル。中央ふれあいセンター（錦城町）と、にしお市民活動センター・アクティにしお（鶴ヶ崎町）を統合するもの。

23-10-26-001 熊本県

「益城町複合施設」（益城町大字木山地内）、2024年3月31日完成。平屋建て。延べ床面積2271平方メートル。2016年熊本地震で被災した男女共同参画センター、町公民館、地域ふれあい交流館の3施設を複合施設として建て替えるもの。

1201 JR線

23-09-13-003 北海道

JR北海道は「エスコンフィールド北海道」に近接する新駅（北広島市共栄）、

2023年9月13日、場所を従来の計画より北広島駅側に約200mずらし、三塁側ゲートから約300m、徒歩4分弱に変更検討。球場の北東側に建設。開業時期不明。

23-10-18-002 東京都

JR東日本「御茶ノ水駅聖橋口駅舎」（千代田区神田駿河台）、2023年12月3日供用開始。2階建て。延べ床面積約4200平方メートル。

23-09-18-002 東京都

JR東日本「中野駅」（中野区中野5丁目241-2、4丁目84-1外）の西側に建設の新駅舎、構内に設ける南北自由通路とともに、2026年開業予定。5階建て。新駅舎延べ床面積約2700平方メートル、商業施設約1万6900平方メートル。敷地面積約7700平方メートル。商業施設として「アトレ」が入る。



「なにわ筋線」路線予定図
この図は「資料室」のデータを補完するために作成したもので、イメージ図のため縮尺・距離・地物などは必ずしも正確ではない。

詳細地図で歩きたい町 東京

完全実踏調査！ 詳しい地図で、楽しく町歩き

最新版

店名、建物名はもちろん、看板や標識、石碑などまで載っている超詳細な地図と、東京の人気エリアを網羅した、編集部提案のコースガイドで観光を完全サポート。小さな発見をしながら、充実した町歩きが楽しめるガイドブックです。『詳細地図で歩きたい町京都』も好評発売中。

A4変形判 160ページ 定価 1,045円(10%税込)

詳しくはこちら

JTBパブリッシング 〒135-8165 東京都江東区豊洲5-6-36 「JTBパブリッシング 旅する本棚」をCHECK
豊洲プライムスクエア11階 <https://books.jtbpublishing.co.jp/>

23-09-19-002 愛知県

JR貨物「名古屋港線」(東海道線山王信号場、名古屋市中区~名古屋港駅、同市港区間約6.2km)、2024年4月1日廃止予定。

23-09-10-001 大阪府

関西高速鉄道「なにわ筋線」(「北梅田駅」、大阪市北区~南海新難波駅・JR難波駅、同市浪速区間7.2km)、2031年春開業予定。

1202 私鉄線・地下鉄・モノレール

23-08-04-027 大阪府

大阪モノレール延伸、「門真市」(門真市新橋町)~「瓜生堂」(東大阪市瓜生堂間約8.9km)、2029年度開業予定。途中に「松生町」、「門真南」「鴻池新田」「荒木」(いずれも仮称)の4駅を設置。瓜生堂で近鉄奈良線に接続する予定。

23-10-24-004 千葉県

東葉高速鉄道新駅「海老川新駅(仮称)」(船橋市米ヶ崎町、海老川上流地区土地区画整理事業地)、2029年3月開業予定。海老川上流地区土地区画整理

事業は同市高根町、東町、米ヶ崎町、飯山満町1丁目、夏見5、7丁目の各一部。

23-10-24-003 富山県

JR城端線(高岡市、砺波市、南砺市)と氷見線(高岡市、氷見市)、「あいの風とやま鉄道」へ移管することが2023年10月23日に決定。非電化の新型車両を導入。

23-08-21-004 富山県

万葉線「第一イン新湊 クロスベイ前」(射水市西新湊)、2023年9月1日、「西新湊」から改称。

23-09-09-001 福井県

第三セクター「ハピラインふくい」新駅(越前市暇町、武生駅~王子保駅間)、2025年春開業予定。ハピラインふくいは2024年3月の北陸新幹線の県内開業に伴い、JR北陸本線の運行を引き継ぐ。

23-09-01-003 愛知県

名古屋鉄道、河和線新駅「か木屋中ノ池」駅(東海市か木屋町唐畑46-2)、2024年3月16日開業予定。所在地は高横須賀駅から1.4km、南か木屋駅から1.4km地点。

23-08-23-001 大阪府

北大阪急行電鉄「千里中央」(豊中市)~「箕面萱野」(箕面市西宿1丁目)間約2.5km、2024年3月23日延伸・開業予定。途中「箕面船場阪大前」(同市船場東3丁目付近)を設置。

23-08-01-001 熊本県

南阿蘇鉄道・高森線の「阿蘇下田城ふれあい温泉」(南阿蘇村大字河陽392-7)、2023年7月15日、「阿蘇下田城」に改称。2016年4月の熊本地震で普通となった同線は同日、立野駅から中松駅間が運転再開し、全線復旧。

23-08-25-003 大阪府

「関西万博会場」(大阪市此花区夢洲)への連絡線として大阪メトロ中央線コスモスクエア駅(同市住之江区)からの延伸部、夢洲(仮称)の駅名が「夢洲」に2023年8月25日正式決定。

1203 高速国道

23-10-17-001 千葉県

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)(首都圏中央連絡自動車道)「大栄JCT」(成田市吉岡字大安場地内)~「松尾横芝IC」(山武市松尾町谷津字千神地内)間約18.5km、2026年度開通予定。大栄JCT~(仮称)国道296号IC間は、1年程度前倒しでの開通を目指す。これで全線開通予定。

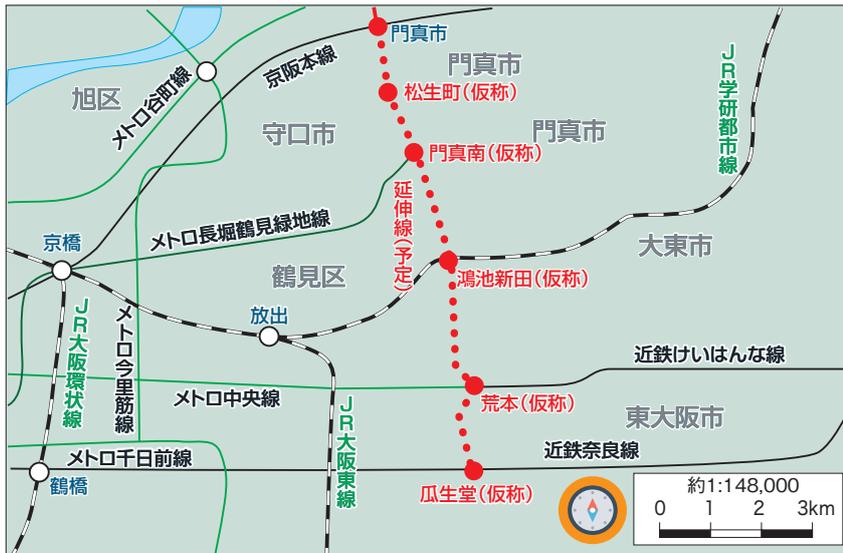
23-09-06-001 徳島県

「徳島南部自動車道」の「立江櫛淵IC(仮称)」(小松島市)~「阿南IC」(阿南市下大野町渡り上り)間3.2km、2025年度開通予定。

1205 有料道路

23-10-09-001 埼玉県・千葉県

「三郷流山橋有料道路」(三郷市前間、県道三郷松伏線~流山市三輪野山、千葉県道松戸野田線バイパス間約2km、うち渡河部450m、江戸川)、2023年11月26日開通。



大阪モノレール延伸予想図(瓜生堂方面)

この図は「資料室」のデータを補完するために作成したもので、ルートは複数の情報からの予想で確定ではない。イメージ図のため縮尺・距離・地物などは必ずしも正確ではない。

歴史や道のを後世に残し
理念や考え方を伝える出版活動

周年史 社史 編年史 記念誌

アイワードがお手伝いする
社史・記念誌

手に取り読みたくなる出版物
正しい文章と的確なページ編集
ハイセンスな誌面構成

株式会社アイワード
記念誌作成資料を無料進呈中
<https://www.iword.co.jp>

本社 〒060-0033 札幌市中央区北3条東5丁目5番地91
東京営業部 〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目4番3号 高岡ビル6階

TEL 011-241-9341 FAX 011-207-6178
TEL 03-3239-3939 FAX 03-3239-3945

「富山県観光産業絵圖」

(富山縣、259×374mm、地図情報センター蔵)

本圖は県が制作したパンフレット「富山縣産業観光案内圖」裏面の富山縣鳥瞰圖である。作者は不詳だが、右下に信一作とある。制作年も不明だが、文字が左書き、タイトルも新旧字体が混在、黒部ダム(1956年着工)が描かれておらず、水力発電量が74万kWと示され、印刷精度が低いことなどから、1960年代初頭のものと思われる。解説もあるがこれも筆者不明、発行所も不明など謎の多いパンフレットである。

ただ、富山縣の観光地、生産物など、多くをイラストで描いていることなどから、学習地図帳と通じるものがある。

解説は縦書き、文語調であるが、富山縣の魅力と特徴を存分に表しているのので、ここに全文を掲載する。

富山縣案内

富山縣と言ひますと山深いところで山と米と薬がすぐ連想されることと思ひますが、さうした觀方は現在の富山縣の実想と、かなりかけはなれて居ります。

富山縣は日本一の電力縣であることを先ず認識していただくかなければなりません。七十四萬キロの電力は既に開發され、工事の中止されてあるものや、其の他を合わせますとまだ百萬キロも残って居ります。

この電力がもととなって、富山縣にはあらゆる種類の近代工業が非常な勢で發達し、これから近代科学工業が燎原の火の様に起らうとして居ります。

勿論米は年産百六七十萬石を算して居りますし、賣薬は全國隈なく、其の足跡をひろげて居ることは御承知の通りであります。

ひるがへて觀光地としての富山縣を瞰下して見ませう。

立山連峯は富山平野を圍繞して居りまして、三千米級の立山連峯を中心とし、まさに天下の壯觀であります。雄山、劔嶽、薬師、毛勝、上ノ岳等を配した、その雄大さは遠望して見て、はた又登つて見て、天下にその比を見ないところと思ひます。

北アルプス連峯——其の名の廣く世に稱せられる所似であります。

更に黒部峡谷はこれ又天下の峡谷として、其の規模の豪岩さは驚異に値するものがあります。しかも黒部軌道を驅つて、居ながらこの景觀をほしいままにすることが出來ます。温泉には宇奈月、大牧、山田等があり、特に宇奈月温泉は黒部峡谷の關門にありまして、あまねく其の名を知られて居ります。曲折に富んだ富山灣の美しさも富山縣のほこりであります。しかも一大水産源をなし、さらに富山灣の蜃氣樓と螢烏賊はこれ又廣く人口に膾炙して居ります。

以上産業と觀光の富山縣を概觀して見ましたが將來にこそ伸び行く富山縣の本當のすがたがあらませう。

圍繞:とりかこむこと

(編集部)

